



SS-100

## 業務用ディスポーザ施工説明書

業務用ディスポーザ

# SS-100/200/300/500



Quality System  
Certified

### 仕 様

#### SS-100

型 名 : SS-100-44	出 力 : 0.75kw (1馬力)
投入方式 : 連続投入方式	回転数 / 分 : 1,425rpm (50Hz)
モータ : 交流誘導電動機	1,725rpm (60Hz)
電 圧 : 単相 100V/200V, 50/60Hz	処 理 能 力 : 約 2kg / 分 (注)
電 流 : 10.5A (100V, 50Hz時)	使 用 水 量 : 19リットル / 分
8.5A (100V, 60Hz時)	モータ保護機能 : オーバーロードスイッチ
5.6A (200V, 50Hz時)	外 装 : ステンレス鋼, クロームメッキ鋼板製
4.3A (200V, 60Hz時)	重 量 : 23kg

#### SS-200

型 名 : SS-200-37	回 転 数 / 分 : 1,425rpm (50Hz)
投入方式 : 連続投入方式	1,725rpm (60Hz)
モータ : 交流誘導電動機	処 理 能 力 : 約 5kg / 分 (注)
電 圧 : 3相 200V, 50/60Hz	使 用 水 量 : 26リットル / 分
電 流 : 4.1A (50Hz時)	モータ保護機能 : オーバーロードスイッチ
3.5A (60Hz時)	外 装 : ステンレス鋼, クロームメッキ鋼板製
出 力 : 1.5kw (2馬力)	重 量 : 32kg

#### SS-300

型 名 : SS-300-24	回 転 数 / 分 : 1,425rpm (50Hz)
投入方式 : 連続投入方式	1,725rpm (60Hz)
モータ : 交流誘導電動機	処 理 能 力 : 約 8kg / 分 (注)
電 圧 : 3相 200V, 50 / 60Hz	使 用 水 量 : 30リットル / 分
電 流 : 6.4A (50Hz時)	モータ保護機能 : オーバーロードスイッチ
5.9A (60Hz時)	仕 上 げ : ステンレス鋼クロームメッキ製
出 力 : 2.25kw (3馬力)	重 量 : 50kg

#### SS-500

型 名 : SS-500-31	回 転 数 / 分 : 1,425rpm (50Hz)
投入方式 : 連続投入方式	1,725rpm (60Hz)
モータ : 交流誘導電動機	処 理 能 力 : 約 10kg / 分 (注)
電 圧 : 3相 200V, 50 / 60Hz	使 用 水 量 : 30リットル / 分
電 流 : 12.8A (50Hz時)	モータ保護機能 : オーバーロードスイッチ
10.3A (60Hz時)	外 装 : ステンレス鋼, クロームメッキ鋼板製
出 力 : 3.75kw (5馬力)	重 量 : 55kg

(注) 処理能力は骨を最高40%まで含んだ生ごみを処理した場合です。  
骨の量が少なくなるほど処理能力は上がり、生野菜、サラダのみの場合  
には示された処理能力の約2倍にまで上がります。

※仕様は予告なく変更することがあります。

本マニュアルの一部、または全部について、無断  
でデータの複製、複写、転載することを禁じます。

**おことわり**

1. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、転載することを禁じます。
2. 本書は著作権法により保護されており、複製または改変は禁じられています。
3. 本製品を無断で改造した場合の責任は一切負い兼ねますので、ご了承ください。
4. 本書は業務用ディスポーザの基本設置について述べられています。  
自動給水などの設置は、業務用ディスポーザ関連機器設置マニュアル  
(文書番号:14446 (2011/03)) をお読みください。設置の前に、本書をよく  
お読みになり、正しい設置をしてください。
5. 業務用ディスポーザ単独での使用はできません。旧建設大臣認定の「ディスポーザ  
排水処理システム」または、(社)日本下水道協会「ディスポーザ排水処理システム  
性能基準(案)」に基づき適合評価された下水処理槽との併用にてご使用ください。

\*\*\*\*\*

**目次**

1. 安全のために（ご使用になる前に必ずお読みください） .....	1-1
2. 構成部品 .....	2-1
3. 取付・接続 .....	3-1
■標準接続図 .....	3-1
■業務用ディスポーザの脚の取り付け .....	3-2
■No. 7 カラーアダプタと業務用ディスポーザの取り付け .....	3-3
■排水管の接続 .....	3-4
■電気の接続 .....	3-5
4. 動作確認 .....	4-1
■操作方法 .....	4-1
■操作時の注意 .....	4-1
5. トラブルシューティング .....	5-1
6. 配線機材の情報 .....	6-1

# 1. 安全のために（ご使用になる前に必ずお読みください）

本製品を設置する前に、本書の「安全上の注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。



## 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いを行うと、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容です。



## 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いを行うと、人が障害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。



## 警告



必ず適切な接地がされていることを確認したうえでご使用ください。  
これを怠ると感電、故障の原因になります。



分解や改造をしないでください。  
感電や火災の原因になります。



濡れた手で端子や配線を触らないでください。  
感電の原因になります。



故障や異常のまま使用したり、放置しないでください。  
感電、けが、故障、火災の原因になります。



表示された電圧以外で使用しないでください。  
火災、感電の原因になります。



本製品は、単相100V、単相200V、三相200Vの電源を機種別に使用します。  
本書をよくお読みの上、正しい配線を行ってください。  
誤った配線をするとう感電、発火、故障の原因になります。



本製品を設置する際は、必ず電源を切ってください。  
感電、けが、故障の原因になります。



本製品の電気工事は、電気工事士の資格を有する方もしくは、資格を有する方の助力を得てください。



本製品の電源には必ず適正なヒューズを使用してください。ヒューズは、表示された規定のヒューズをご使用ください。  
感電、発火の原因になります。

無断複製、複写、転載禁止

## 注意



本書記載の設置条件を満たしていることを確認の上、使用を開始してください。  
これを怠ると、けがや故障の原因になります。



電気配線時は、コード類を挟み込んだり、傷つけたり、無理に引っ張るなどの加工をしないでください。  
破損などにより発火、感電の原因になります。



本製品の配管は、経験と技術を備えた方もしくは、経験と技術を備えた方の助力を得て行ってください。  
水漏れなどにより故障、物損の原因となります。



本製品内に指を差し込まないでください。  
けがの原因になります。



本製品は、キッチンから出る通常の生ごみを処理するように設計されています。  
生ごみ以外のものを投入するとけが、故障の原因になります。



本製品に金属、ガラス、陶磁器、砂、プラスチック類、ビニール、タバコ、布、ゴム、大きな骨、生の魚や鳥の皮を投入しないでください。  
けが、故障の原因になります。



本製品に多量の熱湯、多量の油、多量のマヨネーズやクリーム、高濃度の薬品および殺菌剤類を投入しないでください。  
生ごみ下水処理槽に影響をおよぼします。



業務用ディスポーザは床面への直接の設置はできません。  
業務用ディスポーザ底面にある通気口を防ぐと発火、故障の原因となります。

## 2. 構成部品

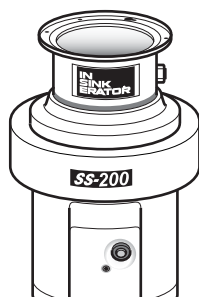
設置の前に以下の構成部品が揃っているかをご確認ください。

- 業務用ディスポーザ  
SS-100



支脚 x2  
(オプション)

SS-200



支脚 x2  
(付属)

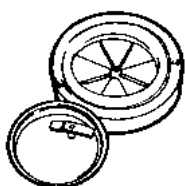
SS-300/500



支脚 x3  
(付属)

- No.7カラーアダプタ (200mm径穴用)  
飛沫防止バフとストッパ付き  
または、弊社製シンクボウル組立

- 防水型電源ON/OFFスイッチ  
(单相 100/200V, 三相 200V用)



設置の前に以下の工具などをご用意ください。

業務用ディスポーザの取り付けに必要な工具と材料

- 溶接道具一式
- ドライバ ⊕・⊖
- ボックスレンチ一式 (調節可能なもの)
- パイプレンチ
- モンキーレンチ
- 電工ナイフ
- ニッパー
- ペンチ
- テスタ
- 電動ドリル
- 閉端接続子
- 圧着ペンチ
- 電気接続用丸型端子
- 六角ボルト・ナット
- ビニル絶縁テープ
- 防水型電源 ON/OFF用スイッチ  
(单相100/200V、三相200V用)
- 防水性接続箱 など

以下の工具と材料も多くの場合、必要になります。

- 配管工事用のパテ
- 金のか
- ドレン・オーガ (排水管内部の清掃用)
- 携帯用ジャッキ  
(例：カラーラボジャッキ)
- エルボ
- T字管
- 止水弁
- 水準器
- ホールソー
- ノックアウトパンチ など

無断複製、複写、転載禁止

● No.7 カラーアダプタ寸法表 (mm)

X	Y	高さ
232	194	52

X：フランジ外径 Y：フランジ内径



単位：mm

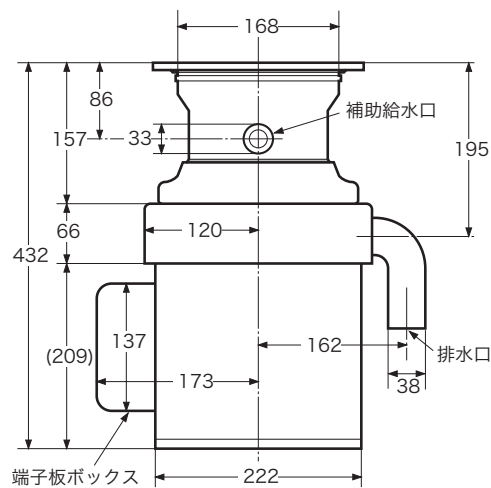
業務用ディスポーザを取り付けるシンクには、溶接するために径200mmの穴を空けてください。

●業務用ディスポーザの水量・排水管径の組み合わせ表

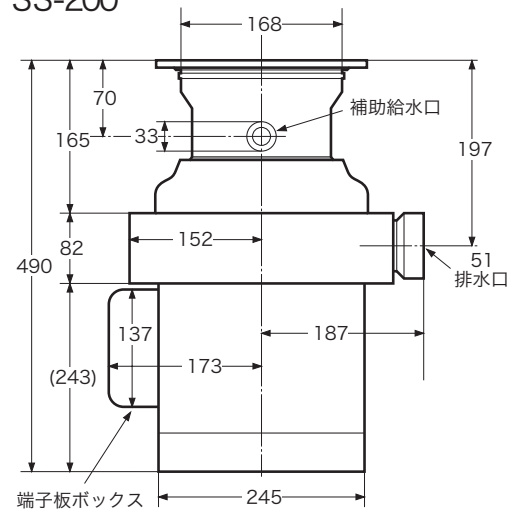
業務用ディスポーザ	水量(リットル/分)	排水管径 (mm)
SS-100	19	38
SS-200	26	51
SS-300	30	76
SS-500	30	76

●業務用ディスポーザ寸法図

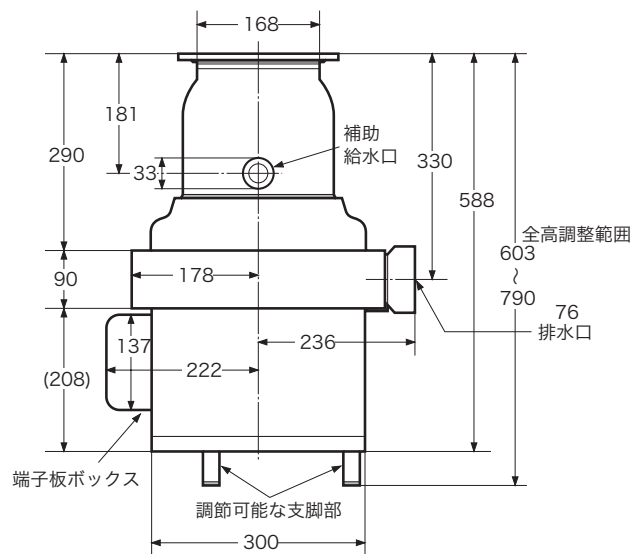
SS-100



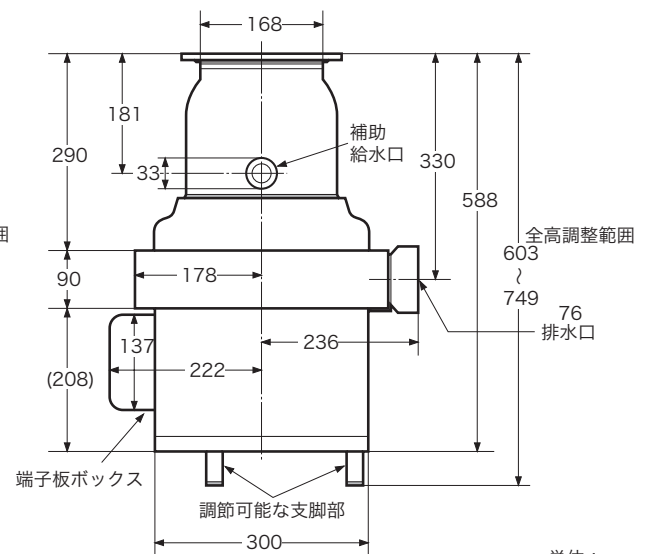
SS-200



SS-300



SS-500

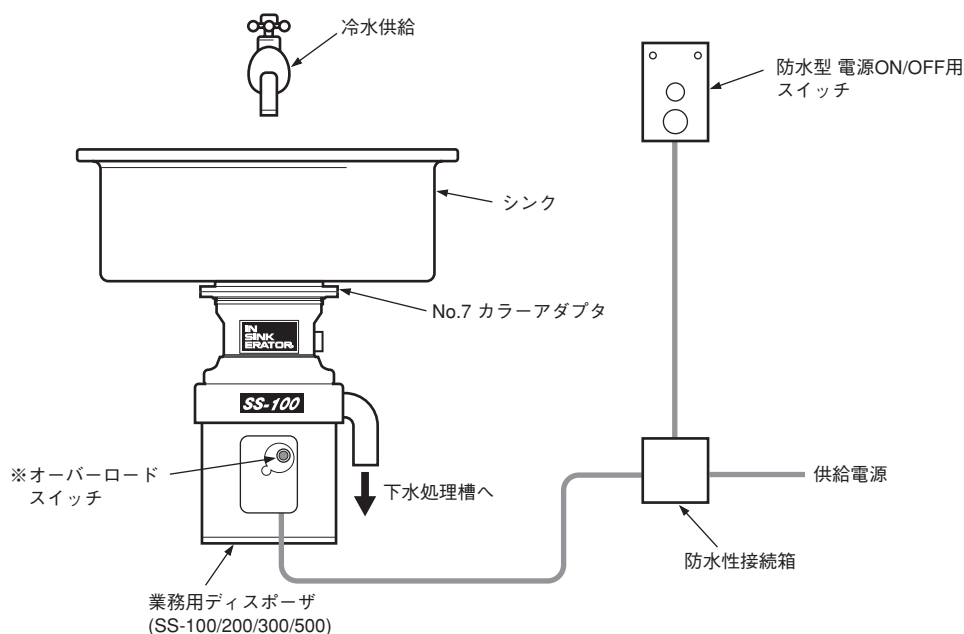


単位：mm

無断複製、複写、転載禁止

## 3. 取付・接続

### ■標準接続図



※オーバーロードスイッチの働きは4-2ページの⚠注意を参照してください。

#### ⚠ 警告

- \* 必ず適切な接地を行ってください。
- \* 分解や改造をしないでください。
- \* 濡れた手で端子や配線に触らないでください。
- \* 表示された電圧以外で使用しないでください。
- \* 必ず電源を切ったうえで、配線をしてください。
- \* 配線は電気工事士の資格を有する方もしくは、資格を有する方の助力を得てください。

#### ⚠ 注意

- \* 配管は経験と技術を備えた方もしくは、経験と技術を備えた方の助力を得て行ってください。
- \* 業務用ディスポーザは床面への直接の設置はできません。
- \* 業務用ディスポーザ底面にある通気口を防ぐような場所への設置は行わないでください。

## ■業務用ディスポーザの支脚の取り付け

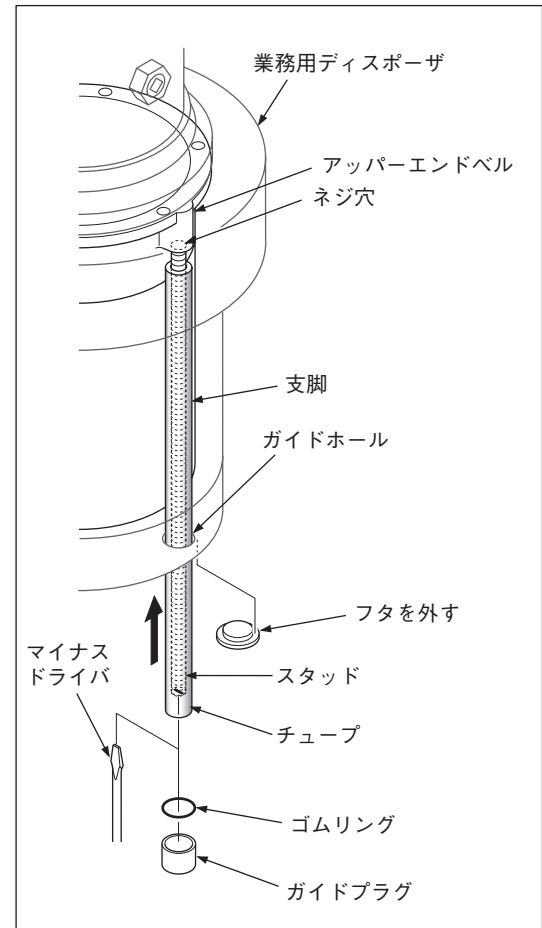
業務用ディスポーザを設置後に安定させるための支脚を取り付けます。

SS-100はシンクおよび、シンクを支えるテーブルが、業務用ディスポーザの重さに十分たえる場合は必要ありません。

SS-200には、2本の支脚を、SS-300/500は3本の支脚を取り付けます。

支脚を取り付けるため、業務用ディスポーザ底部のフタ(2個または3個)を外します。

1. 支脚を業務用ディスポーザ底部のガイドホールに取り付けます。  
内側のネジが切ってあるスタッドを上端部ベルのネジ穴にねじ込み、マイナスドライバを使って締め付けます。  
(注意:締め付けが緩いと、脱落の原因になります。)
2. 支脚の底部にガイドプラグ押し込みます。
3. 支脚の長さ調整
  - 3-1. 支脚外側のチューブを回して長さを調整します。
  - 3-2. ゴムリングを業務用ディスポーザ底部に向かって押し上げ、長さ調整を維持します。





## ■ No. 7 カラーアダプタと業務用ディスポーザの取り付け

直径200mmの開口部を持ったシンクに取り付けます。

弊社製シンクボウル組立をご購入の場合は、業務用ディスポーザ関連機器設置マニュアル(文書番号:14446(2011/03))をお読みください。

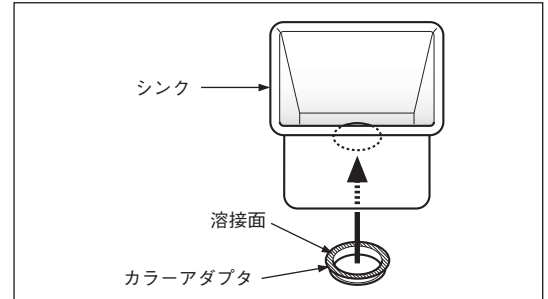
### 1. カラーアダプタを、シンク下に溶接します。

通常のステンレス鋼溶接(アルゴンガス溶接など)で溶接します。  
注) シンクとアダプタ間に隙間があると漏水の原因となり、業務用ディスポーザの故障や漏電の原因となり得ます。

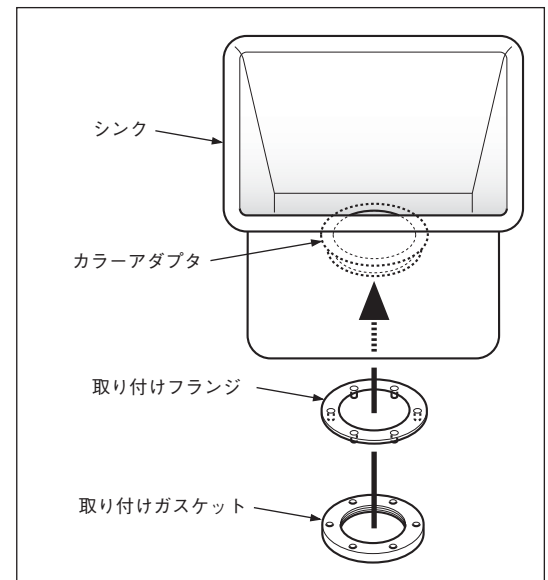
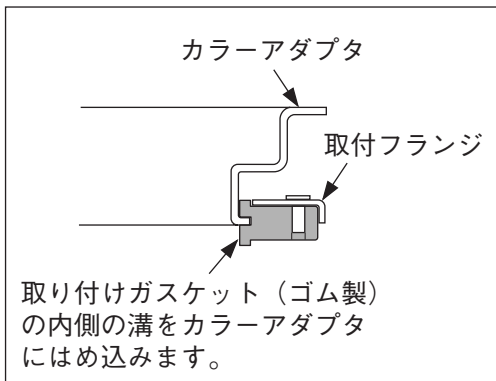


**警告**

溶接は、ステンレス鋼溶接技能者か、有技能者の指導の下で行ってください。重大な事故の原因となります。

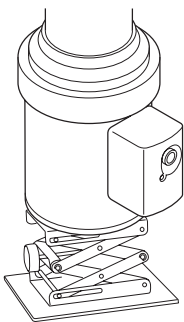


### 2. カラーアダプタに取り付けフランジ、取り付けガスケットをはめ込みます。

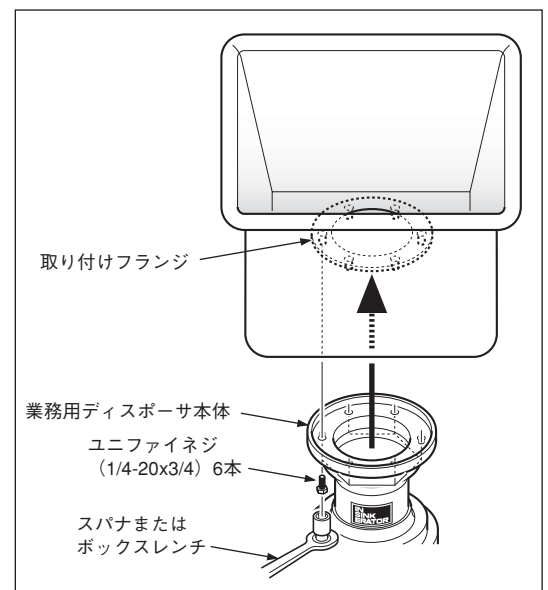


### 3. 業務用ディスポーザ本体を持ち上げ、特殊ネジ(6本)で取り付けフランジに固定します。スパナまたは、ボックスレンチにてしっかりと固定します。(注意:ネジは、アダプタ付属のユニファイ(インチ)ネジを使用します。)

業務用ディスポーザの持ち上げには、小型の携帯用ジャッキを用いると便利です。

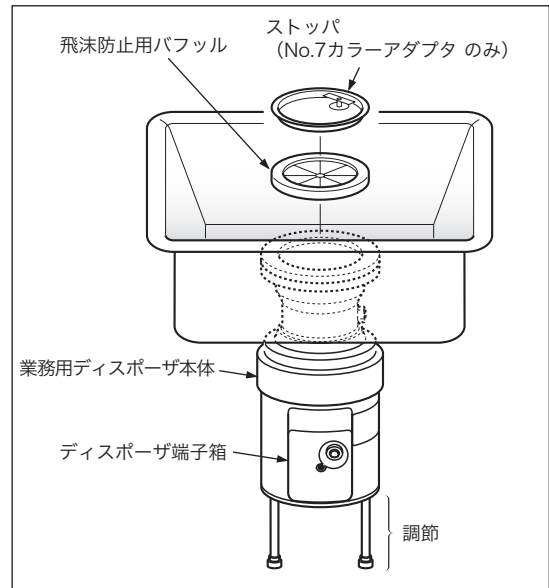


(例: カラーラボジャッキ)



無断複製、複写、転載禁止

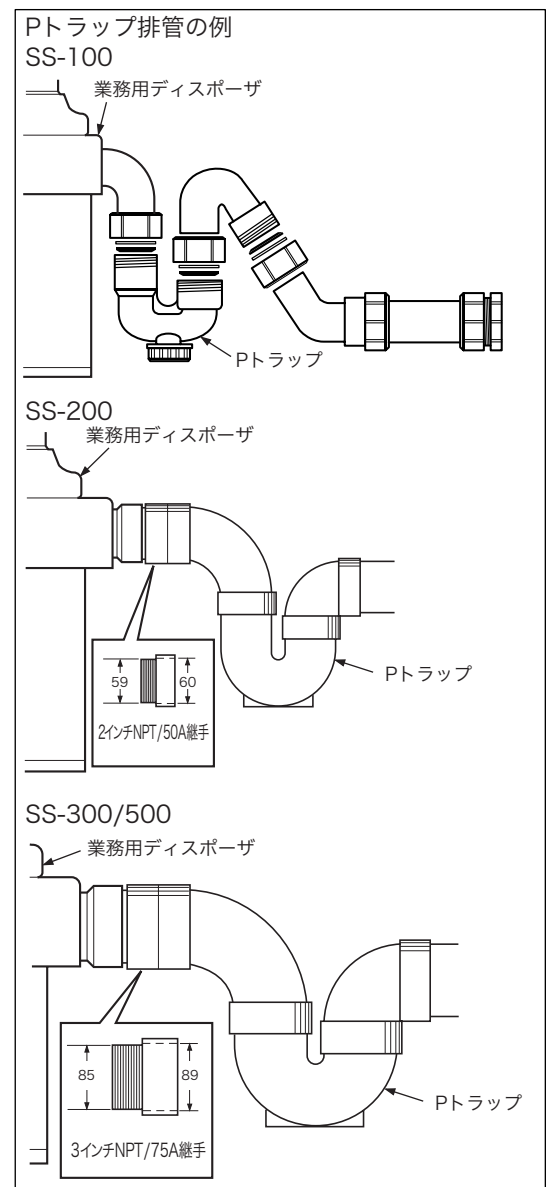
4. 飛沫防止用バフフルとストoppaをはめ込みます。  
 SS-200 (2本)、SS-300/500 (3本) の支脚の長さ調整を  
 します。(3-2ページ参照)  
 後工程の電気配線、排水管接続がしやすいように、業務用ディ  
 スポーザ端子箱が正面にくるように回します。



## ■排水管の接続

以下の点に注意して、排水管を接続します。

1. オーバーロードスイッチの操作に便利なように、業務用ディ  
 スポーザの排水管はディスポーザ端子箱が使用者の側に向くよう  
 に接続します。
2. SS-100は付属 の排水管にトラップを接続してください。  
 SS200は2インチNPTもしくは50Aの継手、SS300/500は  
 3インチもしくは75Aの継手を排水フランジにねじこみ、排  
 水トラップ等を塩ビ接着してください。
3. Pトラップは業務用ディスポーザの排水フランジにできるだけ近  
 く置いてください。
4. 水平な排管はできるだけ短くします。最低1/50° の勾配が必要  
 です。



### ⚠ 注意

排水管の接続は、経験と技術を備えた工事業者向けのもので  
 経験のない方が配管を行う場合には、必ず経験と職業的知識を持った人  
 からの助力を仰ぐようにしてください。不適切な取り付けによって起こ  
 った業務用ディスポーザおよび、関連製品の損傷は保証の対象となりませ  
 ません。

無断複製、複写、転載禁止

## ■電気の接続

### ●安全について

#### ⚠ 警告

- \* サービス業務は必ず電源をきってから行ってください。(電圧計か回路テスタで確かめてください)
- \* 業務用ディスポーザは、必ず内線規程(社団法人 日本電気協会)に準じて第三種接地工事を行ってください。
- \* 電源には必ず湿気や水気のないところに電気工作物に適合した漏電遮断装置を設置してください。
- \* 電気使用場所は、湿気や水気に対応した配線器具を用い、機器間を接続する電線は、KIV線(より線)をご使用ください。
- \* 電気工事は、電気工事士の資格を持っている方が行ってください。また、この資格を持たない方が電気工事を行う場合は、必ず有資格者の立ち会いのもとに行ってください。
- \* 不適切な取り付け方による業務用ディスポーザや補助器具類の損傷は保証の対象になりません。
- \* 全ての電気工事は、電気工事士法に準じてください。

#### ⚠ 注意

- \* 工場出荷時の業務用ディスポーザには特定の電圧のための配線はしてありません。業務用ディスポーザ モーターは単相 100V / 200V 用と三相 200V 用があります。電圧・位相および接続に関してはディスポーザ端子箱内に貼ってあるモータ標準接続図(図3-1)を参照してください。

### 業務用ディスポーザの型名とモータの電圧・位相

業務用ディスポーザ 型名	単相100V 50/60Hz	単相200V 50/60Hz	三相200V 50/60Hz
SS-100	○	○	—
SS-200/300/500	—	—	○

表3-1

### 電線管の太さについて

電線管の太さ(管の呼び方)は、業務用ディスポーザの引出口の径が22.2mmのため、"16"になります。配管部品は、この"16"に適合した物をお求めください。

### 業務用ディスポーザのモータ標準接続図

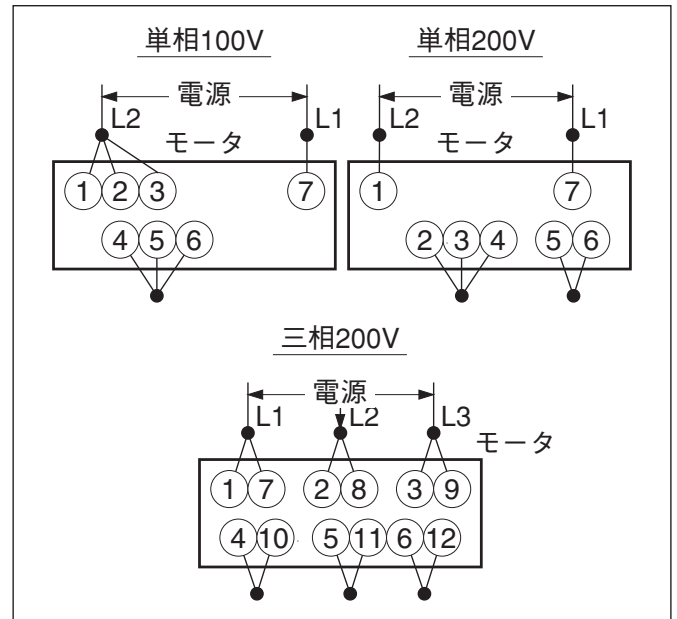


図3-1

### ●業務用ディスポーザの基本配線

各部の名称

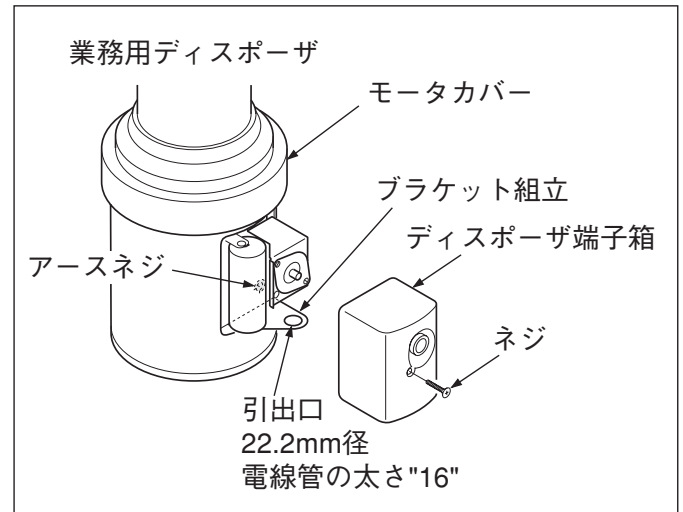


図3-2

1. ディスポーザ端子箱の中心にあるネジを外し、ディスポーザ端子箱をモータカバーから外します。
2. 引出口に配線用コネクタおよび配管を接続します。
3. 防水性接続箱を用いて電源ライン、防水型電源ON/OFF用スイッチの配管および全ての配線の接続を行います。
4. 業務用ディスポーザの第三種接地工事を行って、ディスポーザ端子箱をモータカバーにネジ止めします。

無断複製、複写、転載禁止

●基本的な接続例

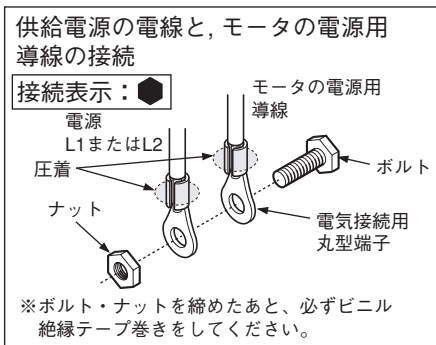


図 3-3

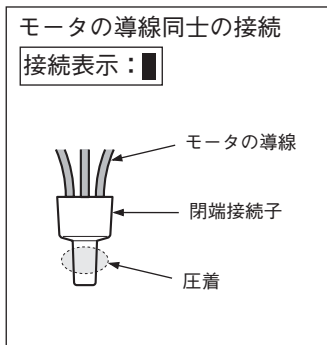
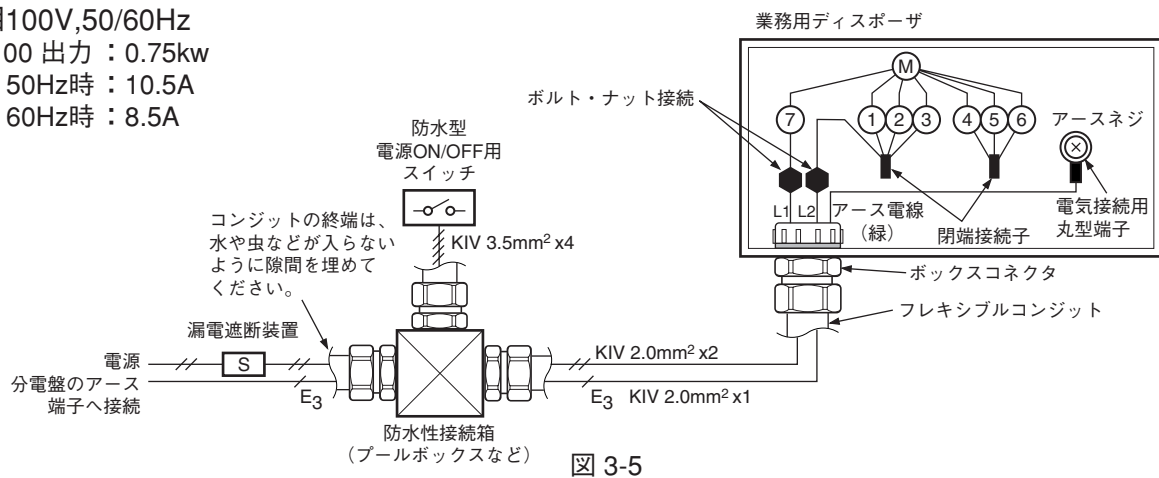


図 3-4

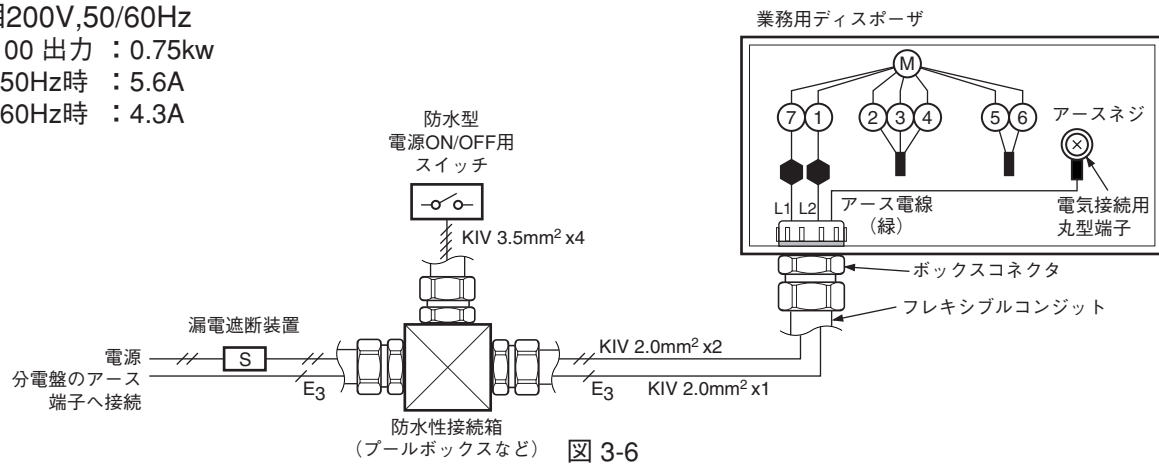
※ モータの導線には、数字1. 2. 3. …と英語でONE. TWO. THREE. …と表記してあります。6 SIX と 9 NINE を間違えないように注意してください。

※ 図中のボックスコネクタ、フレキシブルコンジットなどは、推奨の配管およびコネクタです。6.配線機材の情報をご参照ください。

□单相100V,50/60Hz  
SS-100 出力：0.75kw  
50Hz時：10.5A  
60Hz時：8.5A



□单相200V,50/60Hz  
SS-100 出力：0.75kw  
50Hz時：5.6A  
60Hz時：4.3A



無断複製、複写、転載禁止

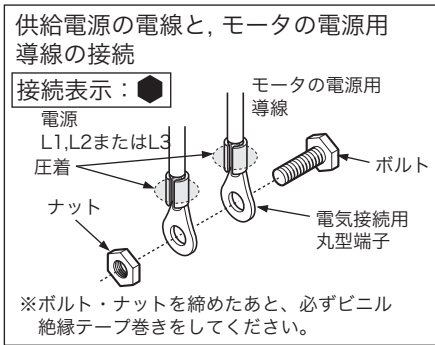


図 3-7

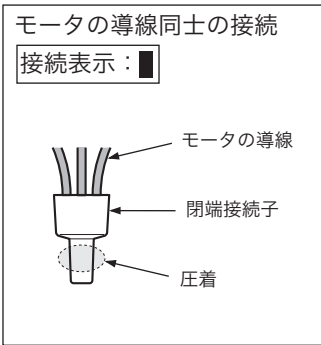


図 3-8

□三相200V,50/60Hz

SS-200 出力：1.5kw 50Hz時：4.1A / 60Hz時：3.5A  
 SS-300 出力：2.25kw 50Hz時：6.4A / 60Hz時：5.9A  
 SS-500 出力：3.75kw 50Hz時：12.8A/ 60Hz時：10.3A

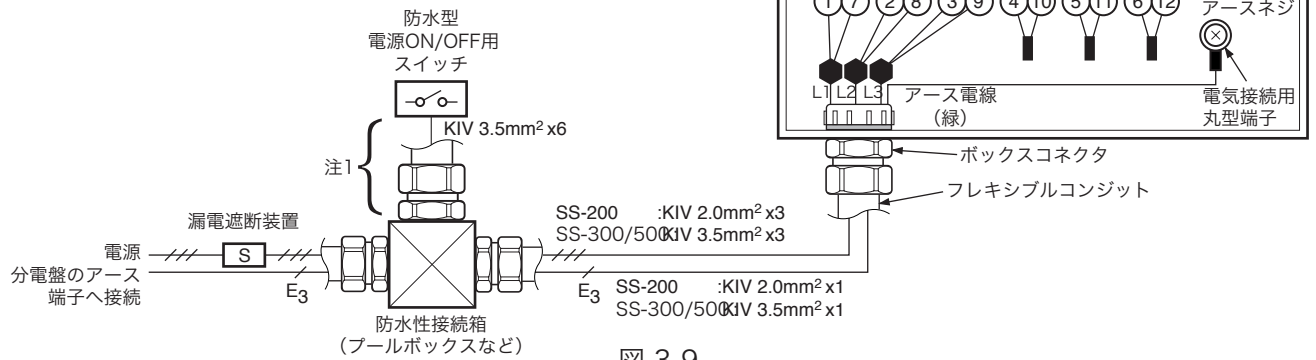


図 3-9

注1: フレキシブルコンジットの電線管の太さ(管の呼び方)が16”の場合、管内に収めるKIV線3.5mm<sup>2</sup>の本数は5本までです。注1の配管には、管内に6本収めることとなりますので、電線管の太さ(管の呼び方)22”のフレキシブルコンジットとボックスコネクタをご使用ください。

無断複製、複写、転載禁止

## ●業務用ディスポーザ配線工事の詳細

1. 業務用ディスポーザおよび電気関連機器の設置場所は湿気や水気のある所になりますので、配線は、金属管配線、合成樹脂管配線、フレキシブルコンジット配線、キャブタイヤケーブル配線など、電気工事土法の内線規程に準じて行ってください。
2. キャブタイヤケーブル使用の場合は、引出口にゴムブッシュを取り付け、隙間にビニル絶縁テープを巻くなどして、水気や湿気、虫などが入るのを防いでください。また、キャブタイヤケーブルの重さでモータ導線との接続部分に負荷がかからないように、サドルなどでキャブタイヤケーブルを固定してください。
3. 防水性接続箱（プルボックスなど）は、基本的に電源ライン、防水型電源ON/OFF用スイッチ、業務用ディスポーザ用の3つの引出口を使います。3つ以上の引出口がある場合は、配線用コネクタかゴムブッシュなどを使い、引出口をふさいでください。
4. 電源ラインは、建物の分電盤から取り、漏電遮断装置を介して防水性接続箱まで配線します。また、アース電線は電気接続用丸型端子を使って分電盤のアースネジに取り付け、電源ラインと一緒に防水性接続箱まで配線します。  
漏電遮断装置は可能な限り分電盤の中に取り付けますが、スペースがない場合には分電盤の近くに取り付けてください。分電盤と防水性接続箱まで距離がある場合は、天上裏配線などを行ってください。
5. 業務用ディスポーザおよび電気制御用部品の組み合わせによっては、例外として太いKIV線を使用したり、電線管を通すKIV線の本数が増え電線管の太さ（管の呼び方）“16”が使えないことがあります。その場合は、1ランク上の“22”を使うことになりますので、それぞれの機器の引出口をホールソーかノックアウトパンチなどを使用して、“22”用の穴（最小寸法27mm径）を開ける必要があります。この場合、配管およびコネクタも“22”に適合したものをお選びください。詳しくは接続例で説明します。

### ⚠ 警告

電源ラインの電線の太さと漏電遮断装置の定格電流は、使用する機器の総電流、または総出力と、電源ラインの配線の長さにより決まります。「内線規程」を参照して算出してください。また、アース電線も電源ラインと同じ太さのものをお使いください。

### ⚠ 警告

#### 感電に関する警告

- \* ディスポーザ端子箱を取り付ける場合、電線を挟んだり損傷しないように注意してください。
- \* 正しい設置、接続工事が済むまでは、電源を入れないでください。

#### モータの導線接続方法について

業務用ディスポーザ設置後のメンテナンスを行いやすくするために下記の方法で接続してください。

- 業務用ディスポーザモータへの供給電源ラインと、モータの電源用の導線に電気接続用丸型端子を取り付けて圧着し、六角ボルト・ナットで接続してください。
- モータの導線同士の接続は、閉端接続子を使い圧着してください。

## 4. 動作確認

取り付け接続後に必ず動作確認を実施してください。

### ■操作方法

1. 動作確認の前に、電気と配管の接続を確認します。
2. 業務用ディスポーザの処理室内に異物などが入っていないかを調べます。
3. 業務用ディスポーザに冷水を供給します。  
(業務用ディスポーザには温水の供給はできません)
4. スイッチのONボタンを押します。業務用ディスポーザのモータが回転を始めることを確認します。
5. 生ごみは一定した量を、連続的に投入します。
6. 生ごみが全部きれいに流されてから、OFFボタンを押します。
7. しばらくしてから(3分程度)冷水の供給を止めます。
8. カラーアダプタ溶接部、取り付けガスケット部、排水管等に水もれがないか、確認します。

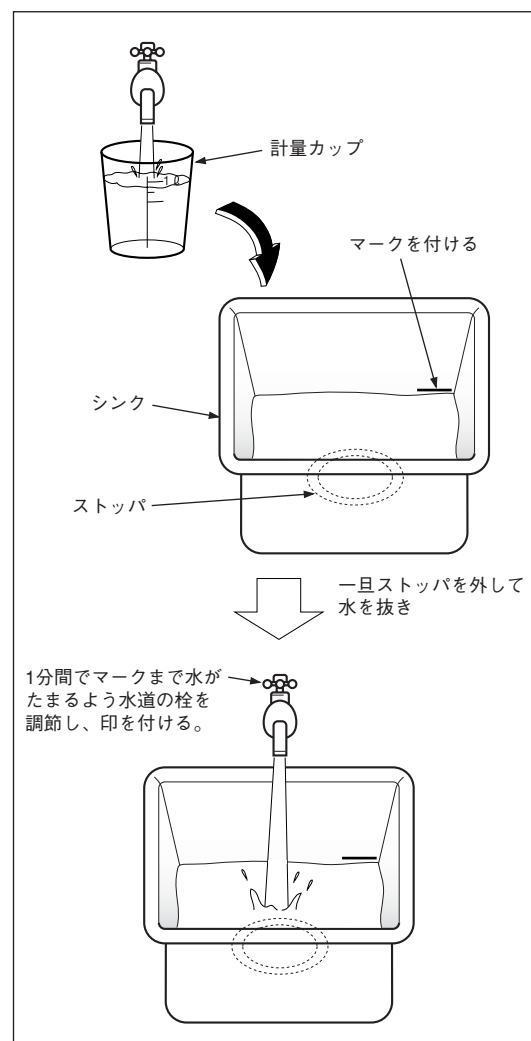
### ■操作時の注意

1. 操作中は業務用ディスポーザに水を一定して流してください。  
(推奨水量に関しては2-2ページ ディスポーザの水量・排水管径の組み合わせ表を参照ください。)

#### 水量の計り方

1. ご使用のシンクにストッパを付けて、設置した業務用ディスポーザの水量 (リットル/分) を計量カップなどで計って入れ、シンクの水面にマークを付けます。
2. ストッパを外して、一度水を全部流します。  
注) シンクにためた水を排水する際には、業務用ディスポーザを運転しないでください。振動が発生し、故障の原因となり得ます。
3. 再びストッパを付けて、1分間でシンクに付けたマークまで水がたまるように水道の栓を調節します。
4. 以上の作業を行い、栓の開き具合に印を付けるなどをしてください。

2. 業務用ディスポーザに過度に生ごみを詰め込んだり、処理室にごみを残したままスイッチを切らないでください。



無断複製、複写、転載禁止

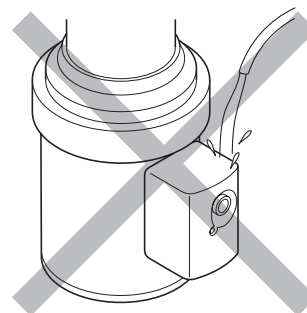


## ⚠ 注意

- \* 業務用ディスポーザはキッチンから出る通常の生ごみを処理するように設計してあります。生ごみ以外のものを投入すると怪我や業務用ディスポーザの損傷の原因になることがあります。
- \* 投入した処理物が投入口から飛び出して、思わぬ怪我などをしないように、パッフルが正しく装着してある事を確認してください。
- \* 生ごみの飛び出しや、異物が処理室に混入を防ぐために、摩耗した飛沫防止用パッフルは交換してください。
- \* 金属、ガラス、陶磁器、砂、プラスチック類、ビニール、タバコ、布、ゴム、牛や豚などの大きな骨、大型魚の骨、生の魚や鳥の皮などは業務用ディスポーザに投入しないでください。  
故障の原因になります。
- \* 多量の熱湯、多量の油、多量のマヨネーズや生クリーム、高濃度の薬品および殺菌剤類は、排水処理上業務用ディスポーザに投入できません。
- \* 処理室内の噛み込みの取り除き、異物の取り出し、リセットボタンの操作に当たっては、必ず電源を切ってから行ってください。
- \* 業務用ディスポーザ内に指を差し込まないでください。異物を取り出す場合には、長柄のプライヤなどの道具を使って取り出してください。
- \* 噛み込みを取り除くには、噛み込み解除専用の棒を使用してください。
- \* 業務用ディスポーザを使用する人は、全員が必ず、操作の前に、安全上の警告、注意と取扱説明書をお読みください。
- \* 現場を離れる場合には、事故を防ぐために業務用ディスポーザの電源を必ず切ってください。
- \* オーバーロードスイッチは、ディスポーザモータに過負荷がかかり、モータが高温になるとモータ回路を遮断する保護装置です。生ごみや水の量を多く流しすぎてこの保護回路が働いた場合は、電源を切りモータが冷却されるまで約5分待って、赤いオーバーロードスイッチを強く押ししてリセットしてください。

## ⚠ 警告

- \* 火事の原因とならないよう、業務用ディスポーザの近くに可燃物を置かないでください。またガソリンやその他の引火物の使用や貯蔵は避けてください。
- \* 業務用ディスポーザの修理、整備を行う前に必ず電源スイッチを切ってください。
- \* 業務用ディスポーザと制御機器が正しくアースしてある事を確かめてください。
- \* 本ディスポーザは完全防水ではありませんので、端子箱に水がかからないようにしてください。



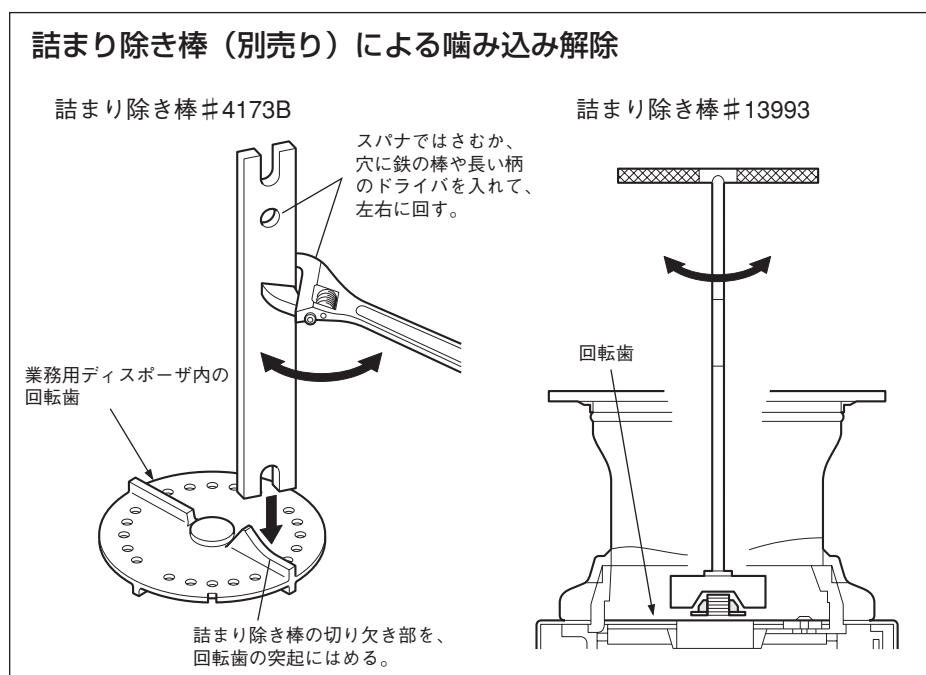


## 5. トラブルシューティング

問題	考えられる原因	対応
業務用ディスポーザが始動しない。	電源が入っていない。 (電気が来ていない)	回路に電源を入れます。
	業務用ディスポーザのオーバーロードスイッチが切れている。	電源を切り、業務用ディスポーザのオーバーロードスイッチを押しリセットします。
	業務用ディスポーザに噛み込みが起きている。	1. 電源を切ります。 2. 詰まり除き棒 (別売り：下記参照) で噛み込みを解除します。 3. 異物を取り除きます。 4. 回転歯が自由に回転することを確認します。 5. オーバーロードスイッチを押しリセットします。
オーバーロードスイッチが頻繁に切れる。 (業務用ディスポーザがたびたび停止する。)	生ごみを詰め込み過ぎている。	投入する生ごみの量を減らします。 (生ごみは一定した量を連続的に投入します。)
	業務用ディスポーザの底面がふさがれて過熱している。	底面を開放し、冷却用空気の取り込みができるようにします。
	ビニールが内部でからみついている。	業務用ディスポーザの電源を切り、サービスマンを呼びます。
モータが冷えてもオーバーロードスイッチが戻らない。	オーバーロードスイッチの故障	サービスマンを呼びます。

※上記対応にても解決しない場合もしくは上記以外のトラブルは、巻末の取扱い店にご連絡ください。

### 詰まり除き棒 (別売り) による噛み込み解除



**警告**

噛み込みの解除は、必ず電源を切ってから行ってください。  
思わぬ怪我の原因になります。

無断複製、複写、転載禁止



## 6. 配線機材の情報

### ●推奨の配管およびコネクタ

弊社では、日本フレックス社製の合成樹脂製可とう管、ニポレックス防水形フレキシブルコンジットと厚鋼電線管用 RBC形ニポレックスコネクタを使用した配線方法を推奨しています。

日本フレックス社製品のお求めは、最寄りの電材店か  
日本フレックス本社(名古屋) TEL: 052-211-3396

東京支社 TEL: 03-3473-3411

大阪支社 TEL: 06-6445-0711

へご連絡していただき、各地域の代理店へお申し込みください。

URL: <http://www.nipolex.co.jp>

### フレキシブルコンジット

#### ■VF型



図 6-1

標準型  
○耐油  
○可動 固定

呼 吋	電線管	呼称品番	内径 (最小) mm	外形 (最大) mm	最大湾曲半径 (内側)		定尺 m	質量 kg/m
					可動 mm	固定 mm		
1/2	16	VF-04	15.8	21.3	110	50	30	0.35
3/4	22	VF-06	20.8	26.7	140	60	20	0.48

注：VF型の標準色は黒です。ライトグレーをご注文の場合は、呼称品番の末尾に「LG」を付けてください。例：VF-04LG

表 6-2

#### ■VFS型



図 6-2

標準型柔軟  
○耐油  
○可動 固定

呼 吋	電線管	呼称品番	内径 (最小) mm	外形 (最大) mm	最大湾曲半径 (内側)		定尺 m	質量 kg/m
					可動 mm	固定 mm		
1/2	16	VFS-04	15.8	21.3	100	40	30	0.38
3/4	22	VFS-06	20.8	26.7	125	45	20	0.52

注：VFS型の標準色は黒です。ライトグレーをご注文の場合は、呼称品番の末尾に「LG」を付けてください。例：VFS-04LG

表 6-3

※電線管「16」のVF型標準形「VF-04」か、VFS型標準形柔軟「VFS-04」をお選びください。

### RBC型コネクタ (厚鋼電線管用)

#### ■ボックス ストレートコネクタ

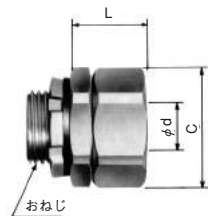


図 6-3

電線管	呼	呼称品番	φd mm	C (約) mm	L (約) mm	Gおねじ JIS B 0202
16	1/2	RBC-104	14.0	23.0	21	G 1/2
22	3/4	RBC-106	19.0	40.7	22	G 3/4

表 6-4

#### ■ボックス 45° コネクタ

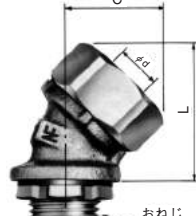


図 6-4

電線管	呼	呼称品番	φd mm	C (約) mm	L (約) mm	Gおねじ JIS B 0202
16	1/2	RBC-204	14.0	30	42	G 1/2
22	3/4	RBC-206	19.0	31	43	G 3/4

表 6-5

#### ■ボックス 90° コネクタ

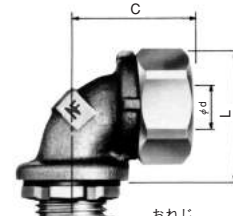


図 6-5

電線管	呼	呼称品番	φd mm	C (約) mm	L (約) mm	Gおねじ JIS B 0202
16	1/2	RBC-304	14.0	37	37	G 1/2
22	3/4	RBC-306	19.0	40	43	G 3/4

表 6-6

※標準取付工事では、ボックスストレートコネクタ「RBC-104」を使用しますが、設置場所によりコンジットに無理な力がかかる場合には、45° コネクタまたは90° コネクタをご使用ください。

### 推奨配管部品

部品名	型名	呼称品番
フレキシブルコンジット VF型かVFS型を選択	VF型	VF-04
	VFS型	VFS-04
ボックスコネクタ	ストレート	RBC-104
絶縁ブッシング	厚綱用	BS-G16
PES (穴埋め部品)		RBC-104用PES

表 6-1

※ご注文は「呼称品番」でお願いします。

■ 絶縁ブッシング  
(ポリカーボネイト製)

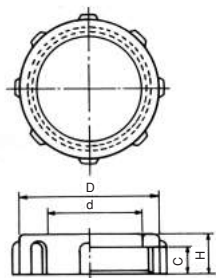


図 6-6

電線管	呼称品番	厚鋼用 (mm)				入数/袋
		D	d	C	H	
16	BS-G16	24	16	6.5	9	50
22	BS-G22	30	22	7.0	10	50

表 6-7

※ コネクタのおねじに取り付け、電線を保護します。  
必ず取り付けてください。

■ PES



図 6-7

※ コネクタに取り付け、水の浸入や虫の侵入を防ぎます。  
制御盤などで使用しない引出口がある場合、コネクタにPESを取り付け、穴をふさいでください。  
※ PESを注文する場合は、コネクタの呼称品番用PESとご指定ください。  
例：RBC-104用PES

● RBC型コネクタの部品名称および材質

1. RBC型コネクタの部品名称および材質

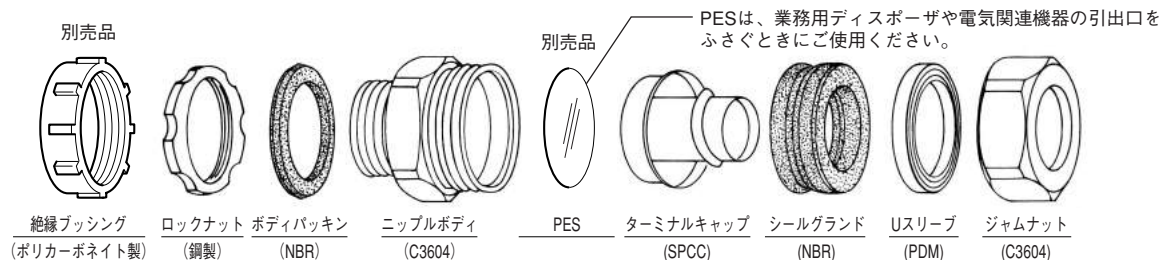


図 6-8

2. RBC型コネクタの組付要領

ニボレックスコンジットに下図の番号順にコネクタ部品を挿入してください。  
ターミナルキャップはコンジット内径にねじこんでください。

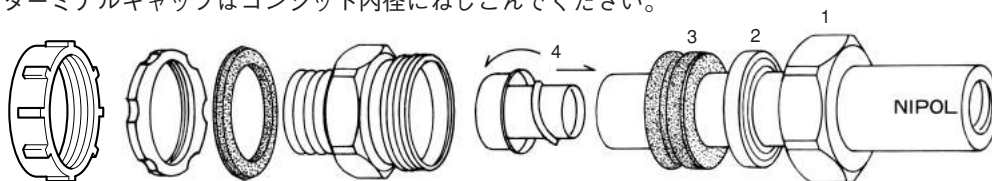


図 6-9

コネクタ部品がセットされたコンジットの先端をニップルボディに差し込み、ジャムナットをニップルボディのネジにねじ込んでください。  
ジャムナットの端面がニップルボディの六角ツバ端面に当たるまでねじ込むことにより組付は完了します。  
(矢印部)

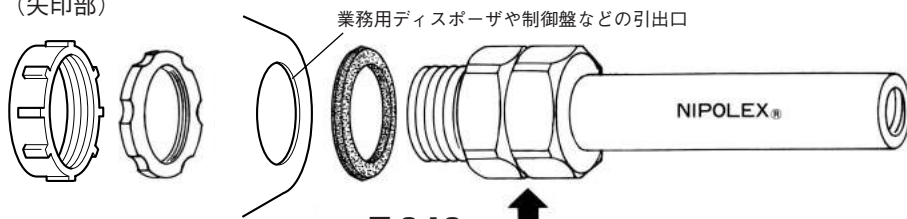


図 6-10

3. RBC型コネクタの組付完了断面

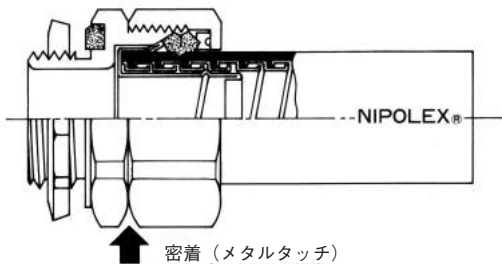


図 6-11

※ コネクタの各部品は、それぞれ単品で購入することができます。  
ご注文は、コネクタの「呼称品番」と部品名をお願いします。

コンジット・コネクタ接続図

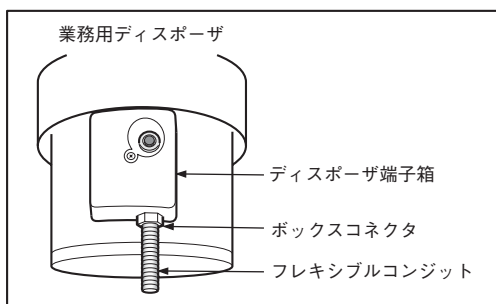


図 6-12

無断複製、複写、転載禁止



- 本製品を設置する上でのトラブルや不明点などは、  
取扱い店にお問い合わせください。

取扱い店	
住所・TEL 店名	

- 取扱い店でも解決できない場合は、下記にお問い合わせ  
ください。

エマソン・エレクトリック イン・シンク・イレーター事業  
InSinkErator®, a Business unit of Emerson Electric Co.

 **0120-530-473**

URL: <http://www.insinkerator.jp/>

